

2022.11.26 (土)

県と木協連など

トーセンが優秀賞

県産材普及推進展示会を開催

県と県木材業協同組合連合会、宇都宮木材市場、買方組合との共催による「2022年度とちぎ県産材普及推進展示会」が17日、宇都宮総合木材市場（中里町1-8-4）で開催された。17人が約820立方メートルを出品し、県産材の優良材を求め、買方側の木材業者らも多数来場した。



松本課長

金子社長

東泉会長



受賞者の記念撮影（左から2人目：トーセン）

「住宅だけでなく、非住宅にも力を入れていきたい。脱炭素、SDGsといった運動も追い風だ。県産材の普及のためにも皆さんに頑張っていただきたい」と来場者に展示品の積極的な購入を呼び掛けた。

後援企業である宇都宮総合木材市場の金子利雄代表取締役社長は「県の今後の大きなプロジェクトでは林業大学校がある。県産材をフルに使う建売物で、今後の木材業界にとって期待のかけらる事業。昨今の市場業界の不振も踏まえ、先



盛況となった即売会

では取り引き量の減少が続いているが、知恵を絞って県産材の安定供給が課題で、木材生産の拡大に積極的に取り組んでいく。普及推進展示会の開催は、とちぎ材の魅力を開発し、とちぎ材の魅力を県内外に広く発信できる機会だ」と業界の発展の発展を祈った。来賓にはこのほか日光森林管理課の徳川浩一課長、県森林組合連合会の佐藤正

美代表専務理事らが出席した。続いて、審査委員長を務めた宇都宮木材市場買方組合の藤崎尚之組合長が審査経過を報告した。審査では「使いやすい木材を求めて」というキャッチフレーズに基き、需要者に即売した優良材の普及と促進の観点から、製材規格や品質等・乾燥および商品価値などを総合的に判断。出売された製材品285品は、第1次審査で60品に絞られ、審査班の厳正なる第2次、第3次審査の結果、トーセン（矢板市）のスギ製材が優秀賞に輝いたほか、優良賞10品、特別賞2品を選定した。表彰式の後には、会場内の特設会場で即売会を開催。展示品を求購者が真剣に品定めし、優良材は次々と成約が決まった。審査結果は次の通り。

- 普及推進展示会実行委員会（会長 長岡）
- ▽マルハチ（矢板市）
 - ▽ヤマザンワタナベ（矢板市、スギ羽柄材）
 - ▽藤田商店（塩谷町、スギ羽柄材）
 - ▽丸ちよん木材（日光市、ヒノキ内装材）
 - ▽二宮木材（那須塩原市、スギ内装材）
 - ▽特別賞（宇都宮木材市場買方組合賞）
 - ▽田中木材（日光市、ヒノキ造作材）
 - ▽特別賞（宇都宮総合木材市場買方賞）
 - ▽徳田製材所（日光市、ヒノキ製材材）
- 【優良賞】（知事賞）
- ▽トーセン（矢板市、スギ製材材）
 - 【優良賞】とちぎ県産材